

2025 年 6 月 20 日

関係大学（研究科・学部）の長 殿
関 係 機 関 長 殿

福島大学行政政策学類長
今西 一男
(公印省略)

教員公募について（依頼）

時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本学類では、下記のとおり教員の公募を行うことになりました。
つきましては、貴学（機関）関係者へご周知くださるとともに、適任者をご推薦くだ
さいますようお願い申し上げます。

記

1. 採 用 職 名 准教授または講師
2. 人 員 1 名
3. 専門授業科目 「公共政策論」
4. 待遇「国立大学法人福島大学職員就業規則（金谷川事業場）」による
 - (1)契約期間： 任期なし（定年 65 歳）
 - (2)試用期間： 試用期間あり（3 か月）
 - (3)就業場所： (雇入れ直後)
福島大学金谷川キャンパス（福島県福島市金谷川 1）
(変更の範囲) 大学の定める場所
 - (4)就業時間： 専門業務型裁量労働制（労働時間の範囲は 8:30～21:30 とし、所
定労働日に勤務した場合は 7 時間 45 分勤務したものとみなす）
 - (5)休 日： 土日、祝日、年末年始、その他特に指定する日（入試業務等により
休日に勤務を命ずることがある）
 - (6)給 与： 「国立大学法人福島大学特定年俸制教員給与規程」による
 - (7)加入保険： 文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険
 - (8)受動喫煙防止措置： 敷地内全面禁煙福島大学規則集 URL：
https://www.fukushima-u.ac.jp/reiki_int/reiki_taikei/r_taikei_01.html
5. 応募資格及び条件
 - (1) 政治学・行政学を専門分野とし、公共政策に関する科目を担当できる方
 - (2) 専門分野で博士の学位を有している方（取得見込みも含む）、あるいはそれ

と同等の研究ないし実務上の業績を有している方

(3) データ分析を研究・教育に活用できる方

(4) 採用時 45 歳以下の方（なお、定年は 65 歳である）

年齢制限の設定は、長期勤続によるキャリア形成を図るためである（雇用対策法施行規則第 1 条の 3 第 1 項第 3 号イ）。

(5) 採用後、福島市またはその近郊に居住できる方

6. 提出書類

※ 電子応募の場合は、PDF ファイルにして提出してください。

郵送の場合は、A4 版で印刷して提出してください。

(1) 履歴書（書式自由） 1 通

写真を添付し、連絡先（電話番号とメールアドレス）等を明記してください。

(2) 研究業績リスト（書式自由） 1 部

主要業績を 3 点指定してください（冒頭に◎印をつけてください）。

(3) 著書または論文のうち主要なもの 3 点（各 1 部、コピー可）、実務経験を業績とする場合には実務業績書

* 公刊予定の原稿については掲載決定の証明書、博士論文については学位取得を証明するものを添付してください。

* 実務業績書の書式は任意としますが、実務の内容と成果、担当期間、責任分担を明確にしてください。

(4) 主要業績 3 点の要約 各 1 部

(2) の研究業績リストで主要業績に指定した 3 点の要約（各 1,000 字以内）

(5) 本学着任後の研究計画 1 部

2,000 字以内にまとめたもの

(6) 本学での教育活動への抱負（2,000 字以内） 1 部

(7) 公共政策に関する専門基礎科目（2 年次配当）、コース専門科目（3 年次配当）のシラバス（各 15 回分） 各 1 部

7. 応募締切 2025 年 9 月 8 日（月）（当日必着）

8. 採用予定日 2026 年 4 月 1 日

9. 書類提出先 JREC-IN Portal Web 応募または下記に郵送してください。

〒960-1296 福島県福島市金谷川 1 番地 福島大学行政政策学類支援室
（封筒の表に「公共政策論教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留または特定記録郵便で送付してください）

10. 照会先 福島大学行政政策学類 学類支援室長

電話 （024）548 - 8253（ダイヤルイン）

メールアドレス gyosei-j@adb.fukushima-u.ac.jp

11. その他

(1) 選考の過程で面接を行うことがあります。その際の旅費等は自己負担とします。

(2) 面接の際に模擬授業を行っていただく場合があります。

(3) 提出書類は返却しません。

付 記

- ① 採用後、行政政策学類の「地域政策と法コース」・政治行政講座に所属し、同時に学類横断の教員研究組織である「法・行政・社会」学系、大学院地域デザイン科学研究科地域政策科学専攻に所属することとなります。
- ② 採用後の主たる担当科目は、学類専門科目「公共政策論」・「現代の公共政策」（夜間主）及び「3・4年次専門演習」等です。
- ③ 上記の科目の他に、学類1年次の「スタートアップセミナー」、2年次の「問題探究セミナー」、全学共通領域科目（「政治学」など）を、担当することがあります。
- ④ 本学では現在学士課程の改革を予定しています。新学士課程では、所属や担当科目が変更されることがあります。また、データ分析関連科目も担当していただく可能性があります。
- ⑤ 本学では、社会人を対象とした夜間主が設置されており、その専門科目のほか、各種演習を担当することがあります。
- ⑥ 教育歴によっては、准教授職採用者は、大学院地域デザイン科学研究科の科目をただちに担当することがあります。
- ⑦ 本学の概要については、<https://www.fukushima-u.ac.jp> を、行政政策学類の概要については、<https://www.ads.fukushima-u.ac.jp> を参照してください。
- ⑧ 過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分内容及びその具体的な事由を必ず履歴書等に記入願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となる場合があります。
- ⑨ 本学は男女共同参画を推進しており、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要なとされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。